

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所（新庁舎） 4階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111(内線 4113)
(秘密厳守)

今月の家庭の日 11月17日（日）

今月は「子供・若者育成支援強調月間」です。
子どもは地域でも育ちます。家庭や地域が中心
となって、公園やお店の周囲で気になる子ども達
を見かけたら、積極的に声かけをしましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

『三十年続く宇和島交流』

千曲市校長会 酒井 康行

姉妹都市である宇和島市へ八月六日～八日の三日間、千曲市の子どもたち二十名と共に訪問団として参加して参りました。その様子を紹介させていただきます。

この交流は、元々宇和島藩伊達氏の豊姫様が、真田家（松代藩）にお興入れされ、千曲市が真田家の領地であり、豊姫様が嫁いでこられる折に、宇和島の名産だったあんずの種を千曲市の森・倉科地域に植えてあんず栽培が始まったご縁がもとで姉妹都市提携を結んでいます。そして、宇和島市の和霊小学校と東小学校が子ども同士の交流を始め、市全体の交流へと発展していきま

した。八月六日、訪問団が約八時間かけて宇和島市に着くと、市長さん、教育長さん、市教育委員会等のみなさんが出迎えてくださいました。また明倫小学校の子どもたちと歓迎交流会をしました。お互いの市を知り合う交流のクイズをグループになって解いていきました。ホームステイ先がペアとなる交流相手となり、歓迎会が終わるとホストファミリーのみなさんが迎えに来てくださっていて、顔合わせ会を行いました。とても温かな雰囲気をつくっていただき、それぞれの家庭に向かいました。

二日目は、ボルダリングを体験し、スポーツを通して交流しました。体を使い、緊張感がほぐれて子どもたちに笑顔がはじまりました。その後、渡船に乗って『蒋洲』という半島の町に行かせていただき、海の幸一杯のバーベキューをごちそうになりました。その後、磯遊びや海水浴をする中で、一気に気持ちもほぐれて会話が弾み、笑顔があふれていきました。活動を共にする中でお互いに心をひらいて、距離を見事に縮め、仲良くなっていく子どもたちの姿を見ることができました。こうした心の通い合う交流が続いてきたことの意味は大きいと思われました。宇和島の子が自分の叔母が千曲市に交流に行き、未だに交流がある話をしてくれました。こうしたことから、この交流が続いてほしいと改めて思いました。関係各位に感謝です。

～ 11月の育成センターの活動～

秋も深まってきました。11月の育成センターの取り組みをお知らせします。

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」及び「有害環境浄化活動強化月間」です。

※青少年健全育成・非行防止を図り、県民総ぐるみの「ひまわりっ子県民運動」を推進する。

(1) 環境浄化活動への取り組み

① 補導委員による環境チェック活動

○環境チェック活動 11/5～11/11:抽出した店舗に、青少年健全育成へのお願いや環境チェックに訪問。

○必須店舗実態調査活動 11/14～11/20:カラオケボックス・ネットカフェ・書店・コンビニ・スーパー・ビデオDVD販売店等には年1回必ず訪問し、環境浄化活動に協力していただいています。

※お忙しい折ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力よろしく願います。

②「有害自動販売機NO!」宣言のチラシを市内全戸に回覧し、市民の皆さんの意識高揚を図る。

(2) 街頭啓発活動の実施 11月1日(金)午前7時～しなの鉄道屋代駅前にて

(3) 長野県青少年健全育成県民大会 東御市文化会館(サンテラスホール) 11月2日(土)



補導日誌から



「幸せのおすそ分け」

9月 5日(木)

4:00pm～6:00

活動を終えての帰路、ヘルメットをかぶった子どもを肩に乗せて歩く親子を見かけました。その子どもさんがとてもいい顔をされていて、一輪車を手に持って歩くお父さんの表情も良かったです。こうして原稿を書いている、その残像が残っていて「幸せのおすそ分け」をしてもらった気分で心が温かくなってきます。

体を動かして遊ぶと楽しいよ!

9月19日(木)

4:00pm～6:00

内川公園では、公園内北側の滑り台では、構造物の狭いすき間に5年男子2人が入り込みゲーム中。東側の東屋では、5年男子1人、2年女子2人がゲーム中。西側のバスケットボールベンチでは、中学3年男子3人がスマホゲーム中でした。バスケのゴール近くで2～3才の男の子がボールと戯れ、その横ではパパが楽しそうに笑いながら、体の動きを男の子にあわせて見守っていました。気温が低下した公園で、体を動かしているのは、この親子のみでした。駐車場の2台の車の運転席の母親らしい女性も、いずれもスマホ中でした。

小船山公園には、母親らしい5～6名の女性と小学校高学年～低学年～未就学児位の子供15～6名がサッカー、すべり台、おしゃべりなどをしていました。2～3才の子もおり、いつも小学生位がほとんどなので、この日の低年齢状況には少し驚きました。公園北東のジャングルジムは高さ4～5mあるのですが、小学5年生の女の子5人が頂上まで登っていました。ジムに慣れた子が始めて上る子に対して、体の姿勢、足をかける位置などを上手に教えており、これを見た補導委員から感嘆の声があがるほど、見事な指導でした。

外での遊びを大切に

9月20日(金)

4:00pm～6:00

巡回時は、少し寒さも感じましたが、穏やかな日でした。ふれあい公園には大勢の親子連れが訪れており、子供たちの元気な声が聞こえました。中村池公園では3年生の同級生2名が仲良く遊んでお

り、元気な声で挨拶をしてくれました。東小学校に行くと、4年生の同級生4名が元気よくキャッチボールをしており、元気な声で挨拶してくれました。話を聞くと、毎週金曜日、グラウンドに家に帰ってから集まり、野球をしているとのこと。「5時30分には帰る」と元気な声で答えてくれました。

草が長くなっています。気をつけて遊ぼうね！

9月24日(火) 4:00pm~6:00

「水辺の楽校」を久し振りに巡回しました。ここも広大な敷地ゆえ、草刈りもままならず、草が生い茂っていましたが、駐車場などはきれいになっていました。その一角にビールなどの空き缶が数個ころがり、黒い大きなビニール袋も捨ててありました。モラルが問われます。子ども達の姿はないので安心しましたが、ここで遊ぶと草丈で見えなくなるので心配です。

佐良志奈神社の一角にある公園は木が大きくなっていて、外を車で通ってみても、どことなく薄暗くみえます。もう少し、明るくなり、気持ち良く使用できる様になったらいいかなと思いました。小船山公園ではバスケットをして遊ぶ小学男子3人がいました。しばらくすると、慌てて帰ろうとしているので聞いてみると「5時30分には家に着いていないといけないんだ」と言います。時計を見ると、5時25分でした。「大丈夫だよ。それより気をつけて帰ってね」と声をかけました。

「心を交わす明るい挨拶」

9月24日(火) 4:00pm~6:00

屋代駅の駅トイレはきれいに掃除されていました。待合室は15名位の人が2~3名グループで電車待ち、全員がスマホで画面に向かって手を動かしており、会話をしている人はだれもいませんでした。ちょっと異常な風景でした。

屋代中学校では、3名で車をおりと同時に元気のよいあいさつを受け、元気づけられました。その生徒達はバレーボール部で20名位円陣を組んでミーティングをしていました。校庭では、それぞれの部で元気な声で活動しており、夕ぐれのさわやかな気候の中、我々も元気づけられ、さわやかな気分になりました。玄関入り口に大きな文字で“心を交わす明るい挨拶”という言葉で掲示されていました。

子どもたちの姿が・・・

9月26日(木) 4:00pm~6:00

稲荷山公園には親子1組、ウォーキング中の女性1人だけで、相変わらず子供達の遊んでいる姿が見られませんでした。更埴西中学校は27日、28日は田毎祭前日の為、校庭等、生徒の姿は見られませんでした。八幡小学校の校庭で大勢の子供達がそれぞれ楽しそうに遊んでいました。先生が花壇の整備をしていました。ご苦労様です。

編集室の窓

ラグビーワールドカップから

9月20日から始まったラグビーのワールドカップも終わりに近づいてきました。この大会では、日本の躍進が目立った気がします。特に、10月4日に行われたサモアとの試合では80分過ぎたワンブレイでのボーナスポイントを決めるトライ。日本中が沸き上がった試合でした。

華やかなトライの陰には、地味な「アシスト」があるようです。テレビの解説者も、「日本の勝利は、ディフェンスにあった。フォワードのがんばりがあったからこそ、勝つことができた」と話していました。

「ALL FOR ONE・ONE FOR ALL」(一人はみんなのために、みんなは一人のために)そして、『ワンチーム』が日本チームの合言葉でした。

試合の勝敗ばかりでなく、選手たちの努力や陰の力について、このワールドカップを通して改めて学ぶことができました。補導委員の皆さんも「ワンチーム」で地域の子どもたちを見守ってくれています。改めて感謝したいと思います。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

将来の夢**3年 宮坂 愛心**

私は将来、直接人と関わる事ができる仕事に就きたいと思っています。私は、人と関わるのが好きだからです。何より話している相手を笑顔にすることが好きです。

私は、働くことで様々な人に笑顔や元気を与えたいと思っています。例えば、看護師さんやお医者さんは、患者さんを安心させることができます。また、テーマパークや宿泊施設のスタッフは、お客様を楽しませることができます。このように人と関わる事で、その人を笑顔にして元気づけられることができるということは素晴らしいことだと思います。私は、まだはっきりと将来の夢は決まっていますが、これからもっとたくさんのかたの事を学び、自分のなりたい姿になれるように努力していきたいと思っています。そして、周りの人に笑顔や元気を与え、たくさん幸せにしたいと思っています。

将来の夢**3年 倉島 亜依**

私は将来、美容師になりたいと思っています。きっかけは、2年生の時に行った職業体験です。私は、美容専門学校に行きました。そこでは、ヘアアレンジをいくつかやらせていただきました。難しいところもありましたが、優しく指導していただき、きれいにつくることができ、うれしく思いました。また、学生さんたちが自分でアレンジした作品を見せていただき、すごいなあと思いました。美容師は髪の毛を切るだけでなく、ヘアアレンジもできようになるということに魅力を感じました。美容師になるためにはいろいろとたくさんのかたの事を学ばなければいけないと思います。そのためにも今やっている勉強を頑張って将来につなげていきたいと思っています。

将来の夢**3年 唐木澤里歩**

私の将来の夢は、ソフトボールの選手になることです。私は今、ソフトボールのクラブチームに所属し、熱心に練習をしています。ポジションはピッチャーをやっています。

よく、おじいちゃんとプロのソフトボールの試合を見ることがありますが、私もこういうところで投げしてみたいと思うようになりました。

ですが、なりたいからといってすぐにできるものではありません。私は、いろいろな大会でピッチャーをやってきましたが、課題がたくさんあります。技術面では、球速をもっと上げて、変化球を投げられるようにしていかななくてはなりません。気持ちの面では、まだまだ弱いところがあって、強気で投げられないところがあります。そういうところを努力して一つ一つレベルアップをしていきたいと思っています。

そして、よくコーチから「普段の生活や人間性も大事に」と言われます。よい選手になる前に、よい人間になることを心がけていきたいと思っています。夢が叶うように、当たり前前のかたの事を当たり前前に頑張っていきたいです。